

## 編集 後記

個人を直接対象とする研究を行う場合は、研究者は対象者に研究目的、研究方法、対象者に協力を依頼したい内容、さらに研究協力は自由意思であり、拒否することによって対象者が不利益にならない事の保障等について、これらを文章と口頭で説明する。その後、対象者が研究に参加するかどうかの判断を行い、研究に参加するという意思がある場合は同意書に署名し、そこで始めて研究協力へのインフォームド・コンセントが成立し、研究が開始される。アンケート調査のように直接対象者と接しないで、特定の集団やグループを研究対象とする場合、そのグループ構成員についての情報を管理している責任者に対して、個人の場合と同様に研究協力へのインフォームド・コンセントを得た後に、研究対象者として選定された理由と経緯をアンケート回答依頼者に説明し、研究が開始される。このように研究開始前の準備に多くの時間と労力が研究者には必要であるが、研究対象者が研究の概要を理解して、自分の意思で研究に協力してデータを提供することになれば、研究データの精度、信頼度は高くなり、さらに得られた研究成果を人々が自分の健康問題解決への手段として活用していただけるのではないかと思う。これら研究協力へのインフォームド・コンセントの基本手順をいくつか飛ばして、データ収集時に、初めて研究協力依頼を説明し、研究対象者は研究の中での自分の役割・立場を理解しないまま、研究対象者になっている様な投稿論文については、しばしば査読担当者から倫理的配慮に関する事項が不足していますという所見が記述されている。学会誌には原稿枚数制限があるために、実施した倫理的配慮事項をすべてかくことは不可能であっても、対象者の欄で「研究の趣旨を説明し同意が得られた」という文章だけでなく、「倫理的配慮」という項目を設けて具体的に記述する事も必要ではないかと思う。

(小西美智子)

## 次号予告

### 原著

都市住民の健康診査結果からみた高血圧と家族歴の関連……………菊川縫子  
日本版主観的幸福感尺度 (Subjective Happiness Scale: SHS) の信頼性と妥当性の検討

……………島井哲志, 他  
ひとりて遠出できないとする高齢者の背景要因—大都市近郊に独居する自立前期高齢者における調査—……………渡辺美鈴, 他

### 公衆衛生活動報告

携帯電話のメール機能を活用した健康教育プログラムの開発と有用性の検討……………久保田晃生, 他

### 資料

交代制勤務の看護師における生活時間構造と疲労—末子年齢別による分析—……………藤内美保, 他  
WHOの健康定義制定過程と健康概念の変遷について……………臼田 寛, 他

## 第63回日本公衆衛生学会総会からのお知らせ

### 【日本医師会認定産業医制度基礎後期・生涯専門研修会の単位を取得希望の方へ】

本学会総会に関連して、10月28日(木)にあります「シンポジウム3」と「教育講演4」を受講されますと上記単位を取得できます。今回の認定は、産業医学研修手帳に直接「証明印」を押しますので、希望される方は、当日「産業医学研修手帳」をご持参頂きますようお願いいたします。なお、今回、始めて取得を希望される方は、予め、所属医師会にご相談の上、日本医師会認定産業医の申請をして手帳を取得しておいて下さい。(医師会に入会していない医師の場合は、勤務地のある都道府県医師会となります。)